

つゆぞらの 梅雨空に伸びる

せい しょくぶつ ツル性の植物！

三浦だより

第87号

自然教室の様子

(54)

発行者
清泉小学校
自然教室

ヤブガラシ



ヘクソカズラ



ヤマノイモ



クズ



カナムグラ



今の時期に茂ってくるツル性の植物を紹介します。まずは散々な名前のヘクソカズラです。葉や茎をちぎると嫌な臭いがするのが名前の由来ですが、花は、紅白のコントラストがきれいです。夏の終わりの花ですが、年々咲くのが早まっています。畑などで他の植物を枯らす勢いで茂っているのがまさに藪枯らし（ヤブガラシ）です。ビンボウカズラというありがたいたくない別名もありますが、小さい花はかわいく、蜜を求めて様々な虫が集まります。大きな葉で沼のヒイラギナンテンやいずみ広場のナツグミの木を覆い尽くしているのはクズです。秋の七草の一つですが紅むらさきいろ ちようがたか ほじょう あつ さ さき はじ 紫色の蝶形花が穂状に集まって咲き始めています。ツルほそなが がた は に細長いハート形の葉をつけているのはヤマノイモです。小さい しろ はな 小しくて白い花をあちこちで咲かせています。大きく育つ た根は自然薯として食べられます。きぼ うの道に茂ってきたのはカナムグラです。雑草の藪を葎といい、鉄のように茎が丈夫という意味で名づけられました。